



室蘭工業大学

学術資源アーカイブ

Muroran Institute of Technology Academic Resources Archive



科学技術人材育成費補助事業
女性研究者研究活動支援事業（一般型）平成25年度-
27年度 活動報告書

2-11.男女共同参画推進に関するアンケート

メタデータ	言語: jpn 出版者: 室蘭工業大学男女共同参画推進室 公開日: 2017-08-22 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/10258/00009424

プロジェクトの最終にあたり、本学の男女共同参画に関する理解度や要望を調査するため、平成 28 年 1 月下旬から 2 月上旬にかけて、ほぼ 5 年ぶりとなる「男女共同参画推進に関するアンケート」を無記名のマークシート方式で実施（常勤・非常勤を含む本学教職員全員を対象）した。371 名に配布し 168 名から回答を得た。

アンケートの設問前半は、平成 22 年度と同様の質問とし、教員や職員の女性比率について適切と感じているかどうかを調査した。また、男女比の偏りの原因と思われることは何かという質問については、なるべく誘導を避けるために自由記述として尋ねた。

次に、本学のライフイベント期の休暇制度について内容の理解度を測るとともに、この機会を利用した情報提供の効果も期待できる設問とした。子の看護休暇については、本学では現在のところ未就学児童までが対象であるが、他大学では小学校 3 年生まで等に対象を広げている例があることから、その必要性について尋ねる設問を入れた。

後半では、本学男女共同参画推進室ニュースレターの認知度や、ダイバーシティ・インクルージョンや LGBT などの用語がどの程度知られているか等の調査とともに、女子学生の学ぶ環境や女性が働きやすい環境が整っているか、取り組みは十分努力されているかという点に関しての評価を尋ねる設問とした。さらに、本学の男女共同参画への意見の自由記述欄を設けた。

アンケートの詳細な結果は、次ページ以降に掲載しているが、特筆すべき点としては、子の看護休暇が小学校 3 年生まで必要という意見が約 70%あり、そのうちの約 70%がさらに小学校 6 年生まで必要という回答であったことが挙げられる。これに関しては自由記述欄に「6 年生というより、一人で病院に行く子供は少ないです」という記載が一件あったほか、米国などでは 12 歳以下をひとりで家に居させるのは虐待とみなされたりする例があることも考え合わせると、「子の看護休暇」の小学生への対象拡大が望まれる。また、「女性の働きやすさへの大学の努力が十分である」との回答は約 26%しかなく、「男性が働きやすいと感じる環境は整っていると思いますかとの問はなぜないのでしょうか？」という意見もあったことから、性別に関わらず働きやすい環境がまだ十分ではないことがわかった。個人としての業務の効率化に頼るだけでなく、大学としての人員配置の改善も必要であろう。

「ダイバーシティ通信」の認知度は約 53%で、創刊 2 年目としては健闘したと言えるが、配布・広報の方法を改善するとともに、より身近なニュースレターとなるよう努めていく。

平成 28 年 1 月

教職員各位

「平成 27 年度 男女共同参画推進に関するアンケート」ご協力のお願い

男女共同参画推進室
室長 木幡 行宏

教職員の皆さまにおかれましては、日頃から、男女共同参画推進へのご理解、ご協力を頂きまして、誠にありがとうございます。

さて本学では、平成 22 年度に「男女共同参画推進に関するアンケート」を実施いたしました。その後このようなアンケートを実施していませんでしたが、前回のアンケート結果をふまえて男女共同参画推進に取り組み、平成 25 年度に「文部科学省 科学技術人材育成費補助事業 女性研究者研究活動支援事業（一般型）」を申請し採択されました。本事業期間は 3 年間で平成 27 年度が最終年度にあたり、現在、本事業の仕上げ時期を迎えております。そこで、今回「男女共同参画推進に関するアンケート」を実施し、最近の状況を分析するとともに、本学の今後の取り組みに役立てていきたいと考えております。

年度末のお忙しい時期に誠に恐縮ではございますが、裏面のアンケートへのご協力を頂きたく、よろしくお願い申し上げます。

対 象：教員および職員（常勤・非常勤を問わず、研究員等も含まれます）

締切り：平成 28 年 2 月 4 日（木）

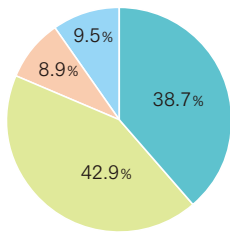
提出先：学内便で男女共同参画推進室女性研究者支援ユニット宛に送付、もしくは、平日 8：30-17：15 に A331 室までお持ち頂ければ幸いです。

なお、アンケート用紙が足りない場合は、女性研究者支援ユニット（内線 5194）までご連絡ください。

平成 27 年度 男女共同参画推進に関するアンケート		① はい	② いいえ	③ わからない
室蘭工業大学 男女共同参画推進室 (記入例) 悪い例 <input type="radio"/> 悪い例 <input checked="" type="radio"/> 悪い例 <input type="radio"/>		教 務 技 員 職 術 ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩		
1	本学の教員の女性比率が、全国立大学の中で下位にあることを知っていますか (国立大学協会調べでは、86 校中、平成 25 年まで 86 位、平成 26 年は 83 位)	<input checked="" type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>
2	本学の教員について、新規採用の女性比率 (21%) は妥当だと思いますか	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
3	この点について大学の取り組みとして十分な努力が行われていると思いますか	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
4	本学の事務職員について、新規採用の女性比率 (40%) は妥当だと思いますか	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
5	(平成 27 年度の技術職員は新規採用者がありませんでした)	<input checked="" type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>
6	この点について大学の取り組みとして十分な努力が行われていると思いますか	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
7	教職員の男女比に偏りが生じている原因と思われることを記入してください	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
8		<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
9		<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
10		<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
11		<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
12		<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
13		<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
14	育児休業・子の看護休暇・介護休業・介護休暇は男性も利用できることを知っていますか	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
15	育児休業制度について大学の取り組みとして十分な努力が行われていると思いますか	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
16	子の看護休暇 (未就学児一人の場合は年 5 日、二人以上の場合は年 10 日) が本学では	<input checked="" type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>
17	常勤・非常勤とも有給であることを知っていますか	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
18	子の看護休暇は、子の定期健診や予防接種のためにも使えることを知っていますか	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
19	子の看護休暇の対象について、小学 3 年生まで必要と思いますか	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
20	上で「はい」と答えた方にお尋ねします。小学 6 年生まで必要と思いますか	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
21	介護休業制度について大学の取り組みとして十分な努力が行われていると思いますか	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
22	介護休暇 (介護を必要とする家族が一人の場合は年 5 日、二人以上の場合は年 10 日) が	<input checked="" type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>
23	本学では常勤・非常勤とも有給であることを知っていますか	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
24	「介護休業」「介護休暇」は、「介護保険制度上の要介護認定」を受けていなくても「(2 週	<input checked="" type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>
25	間以上) 常時介護を必要とする状態」であれば対象となることを知っていますか	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
26	本学男女共同参画推進室ニュースレター「ダイバーシティ通信」を知っていますか	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
27	「ダイバーシティ通信」を読んだことがありますか	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
28	ダイバーシティ&インクルージョンの意味を知っていますか	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
29	LGBT を知っていますか	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
30	大学として LGBT (性的少数者) への配慮は十分だと思いますか	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
31	女子学生が学びやすいと感じる環境が整っていると思いますか	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
32	この点について大学の取り組みとして十分な努力が行われていると思いますか	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
33	女性が働きやすいと感じる環境が整っていると思いますか	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
34	この点について大学の取り組みとして十分な努力が行われていると思いますか	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
35	デート DV を知っていますか	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
36	本学の男女共同参画についてご意見をお寄せください	<input checked="" type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>
37		<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
38		<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
39		<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
40		<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
41	以下の回答は任意ですが今後役に立てるためにご協力をお願いします	<input checked="" type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>
42	年齢 20 代以下	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
43	30 代	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
44	40 代	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
45	50 代	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
46	60 代以上	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
47	あなたの性別 (性自認) 男性	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
48	女性	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
49	【 】ご記入ください	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
50	ご協力ありがとうございました。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

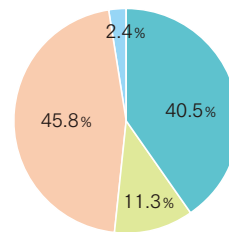
スキャンで読めるアンケート 大学のアンケート © 2011 スキャンシステム株式会社 ネットを無断で複製することを禁じます。 意見登録済 SH-0008

●職 種



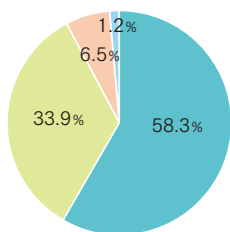
■教員 ■事務職員 ■技術職員 ■不明

●この点について大学の取り組みとして十分な努力が行われていると思いますか



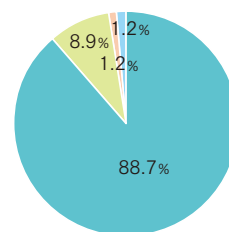
■はい ■いいえ ■わからない ■不明

●本学の教員の女性比率が、全国立大学の中で下位にあることを知っていますか（国立大学協会調べでは、86校中、平成25年まで86位、平成26年は83位）



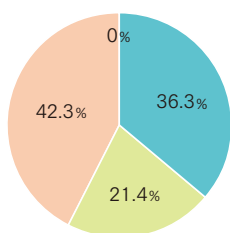
■はい ■いいえ ■わからない ■不明

●育児休業・子の看護休暇・介護休業・介護休暇は男性も利用できることを知っていますか



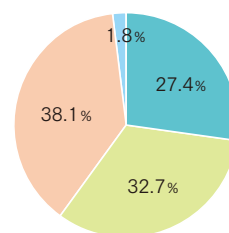
■はい ■いいえ ■わからない ■不明

●本学の教員について、新規採用の女性比率（21％）は妥当だと思いますか



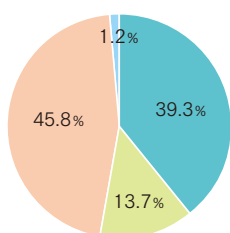
■はい ■いいえ ■わからない ■不明

●育児休業制度について大学の取り組みとして十分な努力が行われていると思いますか



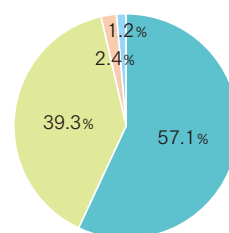
■はい ■いいえ ■わからない ■不明

●この点について大学の取り組みとして十分な努力が行われていると思いますか



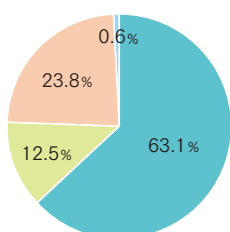
■はい ■いいえ ■わからない ■不明

●子の看護休暇（未就学児一人の場合は年5日、二人以上の場合は年10日）が本学では常勤・非常勤とも有給であることを知っていますか



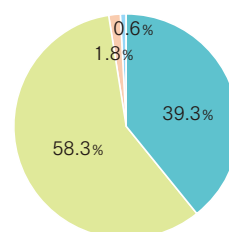
■はい ■いいえ ■わからない ■不明

●本学の事務職員について、新規採用の女性比率（40％）は妥当だと思いますか（平成27年度の技術職員は新規採用者がありませんでした）



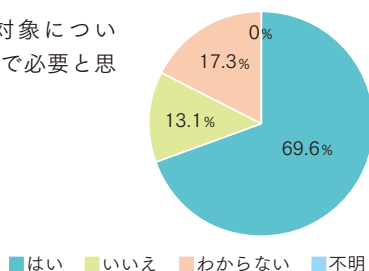
■はい ■いいえ ■わからない ■不明

●子の看護休暇は、子の定期健診や予防接種のためにも使えることを知っていますか

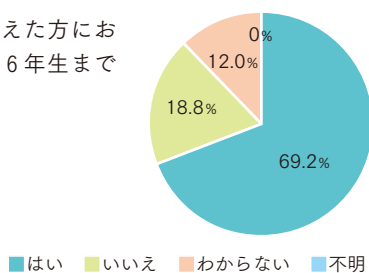


■はい ■いいえ ■わからない ■不明

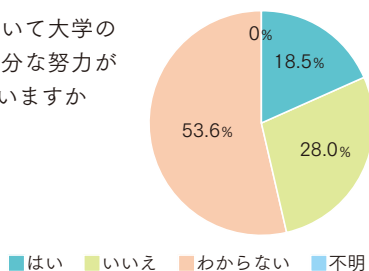
●子の看護休暇の対象について、小学3年生まで必要と思いますか



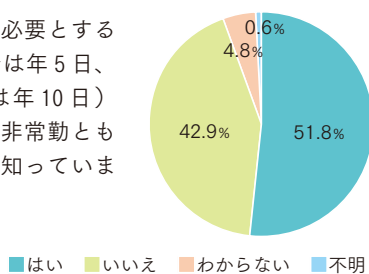
●上で「はい」と答えた方にお尋ねします。小学6年生まで必要と思いますか



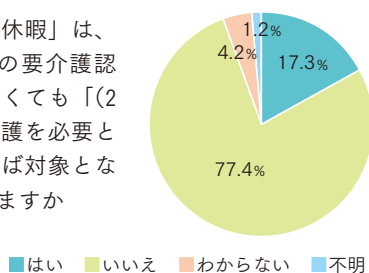
●介護休業制度について大学の取り組みとして十分な努力が行われていると思いますか



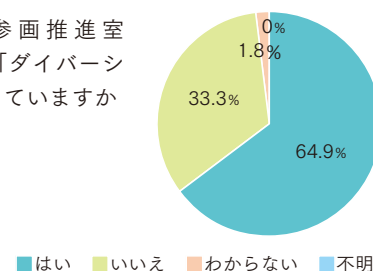
●介護休暇（介護を必要とする家族が一人の場合は年5日、二人以上の場合は年10日）が本学では常勤・非常勤とも有給であることを知っていますか



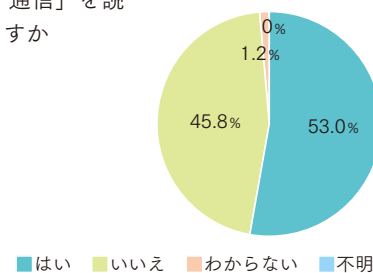
●「介護休業」「介護休暇」は、「介護保険制度上の要介護認定」を受けていなくても「(2週間以上)常時介護を必要とする状態」であれば対象となることを知っていますか



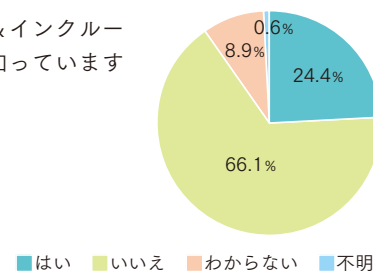
●本学男女共同参画推進室ニュースレター「ダイバーシティ通信」を知っていますか



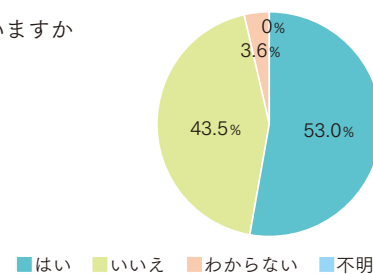
●「ダイバーシティ通信」を読んだことがありますか



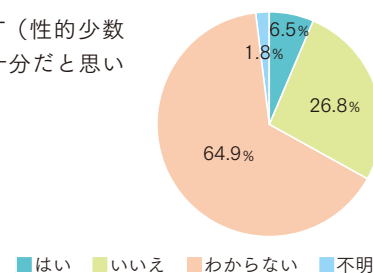
●ダイバーシティ&インクルージョンの意味を知っていますか



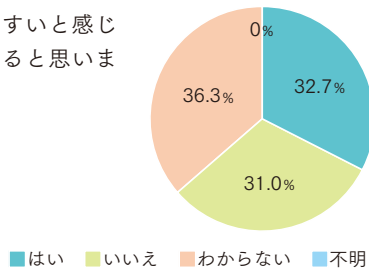
●LGBTを知っていますか



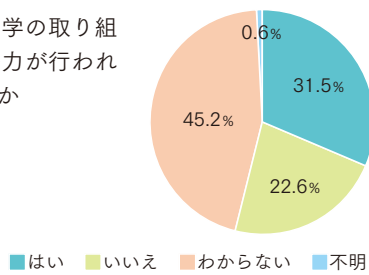
●大学としてLGBT（性的少数者）への配慮は十分だと思いますか



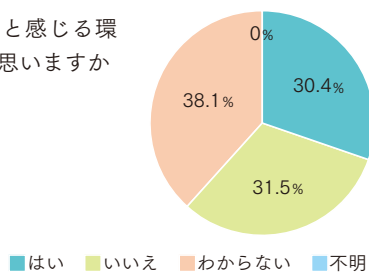
●女子学生が学びやすいと感じる環境が整っていると思いますか



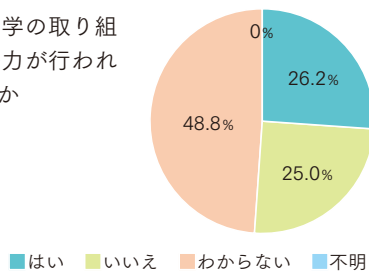
●この点について大学の取り組みとして十分な努力が行われていると思いますか



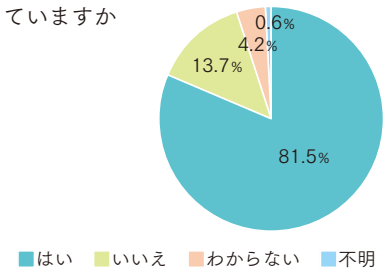
●女性が働きやすいと感じる環境が整っていると思いますか



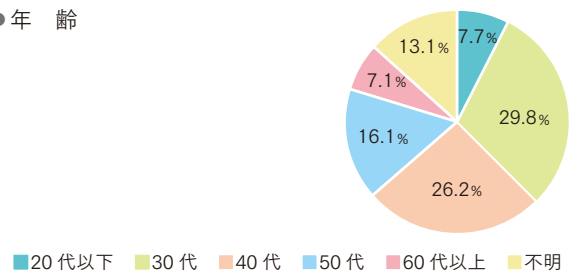
●この点について大学の取り組みとして十分な努力が行われていると思いますか



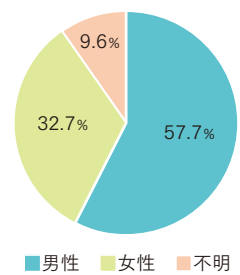
●デートDVを知っていますか



●年齢



●あなたの性別（性自認）



●教職員の男女比に偏りが生じている原因と思われることを記入してください

- ・① There are not enough women in senior positions (gakkacho, Riji) in the university. ② There are not enough female students, both at the undergraduate and post-graduate levels (教員・40代・男性)
- ・理学・工学の分野で教員や研究者を志す人の男女比に偏りが生じている。(教員・40代・男性)
- ・女性は、結婚、出産により、仕事だけに集中できない時期があると考えられるため。(事務職員・40代・女性)
- ・女性の管理職が少ないため、色々なことに理解が足りない。(30代・女性)
- ・採用する人間に偏見があったのでは。(技術職員・40代・男性)
- ・業務を遂行する為の人材が男性が多かっただけで、有能な人なら男女問わず採用すれば良い。男女に差が無ければ50%、50%に近づくのではないか。(事務職員・60代以上・男性)
- ・良い人を採用するために十分な努力をしていない。(教員)
- ・教員の偏りの原因としては、工学系大学のため研究分野自体の裾野拡大の自助努力が必要と考えます。職員については、事務サービスが主の業務となるため、採用時のアピールを工夫するだけでよいと考えます。(事務職員・40代・男性)
- ・教員や事務職員の採用について合計何人応募があり、うち女何人男何人、採用も女何人、男何人という採用の詳細を知らず、結果の比率だけを見て意見を求められても答えられない。(事務職員・50代・女性)
- ・教員については、工学を専攻している方(教員の候補になりうる人)の男女比がそもそも偏っているので、致し方ないと思います。(事務職員・30代・女性)
- ・工学の大学と大学院の卒業生の‘大学教員’と‘研究者’への就職状況は男女それぞれの比率がちがうし、工科系の女性の絶対数が少ないという問題は大学や研究機関において女性研究者が少ない理由かもしれないです。(技術職員・30代・男性)
- ・理系の大学でも男性ですら博士課程に進学するのは一握りで、教員になるのはさらに限定されるという現実で女性が少ないのは当然である。それなのに21%というのは比率をあげるために不公平な採用をしたと疑います。技術職員も同様に母体数が少ないのが原因。また、女性が積極的に採用される状況であれば、地方国立よりも都会や力のある大学に就職するのでは。事務職員の場合、女性支援をしてもリスク管理として6:4が妥当ではないでしょうか。財源があれば全く違うでしょう。(教員・30代・男性)
- ・教職員の男女比の理想とか目標かといったものが存在するのかがわからない。(教員・40代・男性)
- ・女性の採用が少なかった期間が長かったため、最近では女性の採用も増えていると感じる。(事務職員・30代・女性)
- ・工学系の女性教員が少ないのは、学生の男女比率を見れば当然。採用21%は、むしろ高いくらいだと思います。(事務職員・30代・男性)
- ・工学部へ進学する学生に男女比に偏りがあるため。進学者の男女比も合わせた目標設定が必要。(教員・40代・男性)
- ・工業大学なので仕方がない。そもそも理系に進む女性が少ないので、教職員に偏りが生じるのは当然である。(教員・20代以下・女性)
- ・工学部中心であるため。(含、女子学生が少なく大学に残る人数も少ない)(教員・50代・男性)
- ・女性の応募者が少ないのかもしれない。採用するに足る人材が現れないのかもしれない。(事務職員・40代・女性)
- ・これまでの習慣によることが大きいと思います。(60代以上・男性)
- ・高校の理系志望女性の低いこと。(教員・30代・男性)
- ・研究者の男女比の偏り。(教員・50代・男性)
- ・研究者 特に工学では女性が少ないため。(教員・50代・男性)
- ・教員では、希望する研究分野に所属する女性研究者

- が著しく少ない場合が多々あり、候補適任者を得ることが困難である。(教員・50代・男性)
- ・工学系のDC進学女子学生が少ない。採用試験(統一試験)を受ける、合格する女性比率が少ない。(事務職員・30代・男性)
 - ・まだ「工学=男性」のイメージが強く、研究者を目指す女性が少ないと思われる。(事務職員・40代・男性)
 - ・工業系という分野の特性。(教員・50代・男性)
 - ・工学系の大学に進学し、研究者(教育者)となる女性は今まで圧倒的に少なかったためと考えます。(技術職員・40代・男性)
 - ・学生の男女比が遠因にあると思われます。(教員・50代・男性)
 - ・工業系の大学だから。(技術職員・40代・女性)
 - ・女性博士の供給不足。需要はある。(教員・60代以上・男性)
 - ・取組みは十分な努力が行われていると思うが、急には変えられないから。(事務職員・30代・男性)
 - ・新規採用女性比率(40%)は正規・非正規を含んだ数字ででしょうか? 正規・非正規を分けて個々に女性比率を検討していかないと課題解決にならないと思う。(事務職員・女性)
 - ・応募者が少ないから。(事務職員・50代・男性)
 - ・そもそも当該分野において女性研究者が少ない。(教員・40代・男性)
 - ・教員に関しては、理工系女性研究者(根本的には理系を志す女子学生)の総数が少なく、パイの奪い合いになっているのが原因か。(教員・30代・男性)
 - ・学問・研究の専門性が高いため。(教員・30代・男性)
 - ・本学に入学してくる女子学生の割合をみると1割程度である。教員に限っては、そもそも工学系研究者中の女性の割合が少ないことが女性比率が低い最大の理由であると考えます。(教員・40代・男性)
 - ・女性教員については、そもそも女性教員になる人が少ないのではないかと思うが、現状がよくわからない。(事務職員・30代・女性)
 - ・女性には就職するというキャリアパス以外にも多彩なキャリアパスがあるからではないか。(教員・40代・男性)
 - ・工学系の研究者は男性が多いため(教員)。(事務職員・30代・女性)
 - ・工学系の単科大学であるため。(事務職員・40代・男性)
 - ・全国的に考えても女性の働きやすい環境が整っていない気がする。
 - ・女性の応募が少ないためと思う。(事務職員・60代以上・男性)
 - ・理系大学であること(女性研究者が少ない分野)。ジェンダー意識が低かったため。工業大学というイメージ。(教員・40代・女性)
 - ・工学部という学問分野やイメージから男女比に偏りが生じていると思う。(事務職員・30代・女性)
 - ・性別を理由に採用を決めることがあまりないため。(事務職員・40代・男性)
 - ・工学を専門とする女性研究者が男性より少ない。女性の応募者が少ない(本学に魅力がない?)。女性が働きやすい環境にない。地理的な問題。(教員・50代・男性)
 - ・上記5について、40%は多すぎる。サボっている女性職員が目立つ。無理に50%にもっていく必要は全くない。偏りは生じて当然。(事務職員・30代・女性)
 - ・教員はそもそも女性が少ない分野だから仕方がないと思います。(工学系) こんなものだと思います。職員については、女性も十分いると思います。(事務職員・30代・女性)
 - ・単に大学名から予想されるのは“男子系”となると思われるので、よほど本学が女性の働きやすい職場をアピールしなければならない。しかも単に教職員の環境だけではなく、学生の環境を含める。さらに地域の環境など総合的な視点が必要だが、やれるところからやっていくことが望ましい。(技術職員・60代以上・男性)
 - ・応募者の属する分野において女性研究者が少ないことが多い。(教員・40代・女性)
 - ・一概に言えないのですが、教職員の応募者の中から能力があつたまま選ばれたのが男の人が多かっただけでなのでは? でも、技術職員の新規採用が

- 無かったのは残念でした。受けたと思っていた。
(事務職員・30代・女性)
- ・工学系はそもそも女性が少ない。北海道の札幌でない地方都市という点では全国的にみても女性の労働力が極めて悪い。既婚者であるからには夫の職場はどこになるのか？(教員・40代・男性)
 - ・結果として比率が低いのか？ わざと低くなるような採用(選抜)方法なのか？という点前者なのではないでしょうか？(技術職員・40代・男性)
 - ・教職員となるべき人材層を増やさない限り、受入れ側だけで努力しても努力につながらない。(教員・50代・男性)
 - ・教員に求められる能力を有した女性が、室蘭で生活している又は生活のベースを置ける状態に無いと考えられる。
 - ・室蘭に女性受けしそうな店や施設が少ない。大学の周辺も少ない。採用したくても、教員公募への応募が(女性の)少ない。今いらっしゃる女性教員の活躍ぶりを目にする機会がない。(事務職員・30代・女性)
 - ・女性が進んで来てみたいと思える要素が少ないように感じる。大学周辺に女性受けしそうなお店などあればもう少し変わるかな…？ 街造り自体を見直さなければならぬのかも…(事務職員・30代・女性)
 - ・男性に較べて女性の応募者が少ないのではないか。職場環境等を改善して、女性が仕事に就きたいと思うような職場とする必要がある。(教員・60代以上・男性)
 - ・女性教員を増やすための移行中のため。(教員・60代以上・男性)
 - ・工学専門みたいな大学行くと女性は少ないです。(技術職員・30代・男性)
 - ・これまでの惰性。工学研究そのものが内包する軍队的雰囲気や女性を加えることへの戸惑い・敬遠・反発など。まあ慣れの問題だとは思ふ。(技術職員・40代・男性)
 - ・工学部なのだから仕方がない部分もある。(教員・30代・男性)
 - ・教員と職員では原因が異なると思う。
- 教員：工学系の女性研究者の比率が低く、採用したくても人材そのものが少ないことが原因。女性研究者を増す必要がある。
- 職員：課長クラスは転勤がある。大学独自で雇用できれば女性比率を課長以上で上げることができるのでは？(教員・40代・男性)
- ・新しい人材を採用するときに、女性を雇うしか方法がないので、偏りはしかたないと思います。(教員・40代・男性)
 - ・教員については、過去は特に目指す女性が少なかったためと考える。(技術職員・30代・女性)
 - ・質問の内容では正しいかどうかわからない。応募者の男女比も明らかにしたうえで結果が示されていれば判断できるが、結果だけを示すのは偏った回答を意図的に誘導しているともとらえることができる。私は本学はかなり努力をしていると考えるが、当初よりも改善していることを考えると現状の男女比ではなく、推移を見る方が正しい判断だと考える。(教員・40代・男性)
 - ・女性だから採用するのではなく、能力の有無を判断し、採用すべき。無能・協調性の無い人は、男女にかかわらず、めいわくです。(教員)
 - ・工学系単科大学であることから、採用希望者(女性)が少ない。(採用希望者に対する採用率も示すべきではないでしょうか)(事務職員・30代・男性)
 - ・そもそも工学部教員に女性は少ないと思います。(教員・40代・男性)
 - ・教員については、教授、准教授になる年齢層の女性教員(研究者)が少ない。職員については、よくわからないが、応募者の比率が、反映されているのではないかと考えています。(教員・50代・男性)
 - ・教員については、それぞれの専門分野における男女比に偏りがあることが原因である。理工系分野の学生の男女比を見ても、偏りがあり、それも原因と思われる。(教員・40代・男性)
 - ・そもそも女性を必要としていないように思います。(技術職員)
 - ・女性比率向上の取組みを開始して数年しか経過していないため。(事務職員・30代・男性)
 - ・工学単科のため。(教員・50代・男性)

● 本学の男女共同参画についてご意見をお寄せください

- ・ ✓の20は6年生というより、一人で病院に行く子供は少ないです。✓の31は環境は必要最低限、整っていれば大学には勉強しに来ているので問題ないと思う。なんでもかんでも意見を取り入れてばかりではダメだと思う。
- ・ 真の男女平等環境を目指す中で、特に女性の不利益について注視されているが、逆セクハラが起これぬ様配慮もお願いしたい。当事者たる女性の生の声を十分に集める努力をされたい。先入観で動かれ、実態とそごが生じているケースを聞くことが少ない。(教員・60代以上・男性)
- ・ 非常勤職員の多くは女性です。彼女たちの待遇を改善することが早急に求められていると強く思います。こういう所にこそ大学の視点がどこにあるのか、どの程度の意識を持っているのかが表れると思います。(教員・40代・女性)
- ・ 教職員それぞれが各種休暇制度について権利の主張ばかりするのではなく、いつでも申請しやすく、受け入れやすい職場環境を作ることが大切だと思う。(事務職員・30代・女性)
- ・ 制度や組の前にどのくらいニーズを把握されているのかが重要だと思います。(事務職員・40代・男性)
- ・ 役職員に女性になっても良いのではないのでしょうか。(教員・50代・男性)
- ・ 上記16~24について、もっと改善してほしい。ここが充実していないと、結局は母、娘である女ばかりが年休を使用して休まないといけな。い。(事務職員・30代・女性)
- ・ 育児休業とかもっととりやすい雰囲気を作って欲しいです。(非常勤職員でも)(事務職員・30代・女性)
- ・ いつもご苦勞様です。単に流行だからやっている(置いている)という大学の姿勢しかないような中で情報発信等に奮闘されていると敬意を表します。教職員個々人がもっと関わっていくような小さな取組でもいいので始めると意識が向上していくと思います。(技術職員・60代以上・男性)
- ・ 女性事務、技術職員の労働環境についても考えるべきだと思います。(教員・40代・女性)
- ・ 看護休暇や介護休暇はあるのですが、その年齢に該当しない年齢の子供、親で障害・持病・ケガ・病気などで休暇が必要な場合のために休暇を作っただけだと思います。追伸：今の世の中は一人親世帯や一人子世帯(母子・父子家庭)があるので宜しくお願いします。(事務職員・30代・女性)
- ・ どうしても性差別の問題が常に関係すると思いますが、女性差別だけでなく世の中には男性差別、マイノリティー差別もあると思いますので、バランスの取れた活動が必要だと思います。(技術職員・40代・男性)
- ・ 大学教員は忙しすぎて男女問わず休める自由はあるかもしれないが休めない。ましてや育児・介護などで休みをとると他の教職員にしわ寄せがいて白い目で見られる。大学の業務全体のあり方が共同参画のために不可欠と思われる。(教員・50代・男性)
- ・ 本学の現状に適した対策や改革をしていただきたいです。一部の方の私利、私欲の為に使われるのはいかがかと思います。
- ・ 学内保育園の設置を希望します。病気回復期(熱が下がった日)にも休まなくてはいけないことも多く、年5日では足りません。(看護休暇)今後、子供がいても学びたいという人も託児施設があれば、増えるのでは? 非常勤の契約期間撤廃も希望します。(事務職員・30代・女性)
- ・ 活動内容を地域にも積極的に発信して下さい。(教員・60代以上・男性)
- ・ 女性教職員の増加、幹部職員への女性採用が必要と考える。大学に併設の保育所を設置すべき。女性教職員の採用につながると考える。(教員・60代以上・男性)
- ・ 男女平等や相互理解のPR。(技術職員・30代・男性)
- ・ 女子トイレが増えたのは良いと思う。(技術職員・40代・男性)
- ・ 引き続き、継続して取り組む必要がある。(教員・30代・男性)

- ・男性主体で考えられている職場だと思いますので、女性教職員の皆様の意見が非常に重要と思われまます。それに対して男性がどのように対応し、協働できるかを共に考えるべきだと思います。(教員・40代・男性)
- ・教室が男子学生ばかりで、女子が居づらいのではないかと思うときがある。(教員・40代・男性)
- ・性差や性別の違いを尊重し、性別による得意負得意分野を考慮し、互いがより長所を輝かすことができる職場作りが理想では。性別の違いに関する表現に敏感になりすぎたり、同じように振るまえる環境にこだわりすぎてもいけないと思う。(技術職員・30代・女性)
- ・ともすると女性が優遇される傾向にある昨今です。これから数年はバランスを正常にするために必要だとは思いますが、その後はどうなるのでしょうか？現状は優秀な女子学生にきっかけを与えるという意見では活動を応援したいと思います。(教員・40代・男性)
- ・今後報告があると思いますが、補助金による事業は成果を挙げていると思います。(事務職員・30代・男性)
- ・がんばってください。(教員・40代・男性)
- ・現実的な目標を設定し、そこへ向かう行動計画を作成して、実行していくことしかないように思います。(教員・50代・男性)
- ・特に意見はないが、地道に取りくんで行く必要があると思う。(教員・40代・男性)
- ・悪い点を改めることや、少数の考えも尊重することは良いことだと思います。ただ、それがすぎると、従来の文化に愛着のある人が責められているようで辛いです。従来の風習にも、良い点、問題のない点はあるはずなのに。(技術職員)
- ・新規採用ベースでは、男女比は公平であると考える。(事務職員・30代・男性)
- ・法人として正しいことをしていると思います。(教員・50代・男性)
- ・着任後間がなく、本学の状況について把握できていませんが、いいかえればもっと男女共同参画についての情報が入手しやすくてよいと思います。(教員・30代・男性)
- ・ニーズ有無の調査を適正に行って、施設整備すべき。昔の施設だから今風にするのではなく、使いやすさも考えて。(事務職員・40代・男性)
- ・貴推進室の取り組みは教員対象と認識しているが、育児中の事務職員も多数おり、事務職員も対象とする予定はないか？(事務職員・30代・男性)
- ・あまり紙を使わずにwebでやる等工夫して下さい。(教員・60代以上・男性)
- ・女性が安心して産休に入れるよう産休中の代替要因は必要です。(事務職員)
- ・男性が働きやすいと感じる環境は整っていると思いますか との間はなぜなのでしょう？ 差別なく問うべきではないのでしょうか？(事務職員・50代・男性)
- ・webでのアンケートにして下さい！(教員・50代・男性)
- ・学校自体に託児施設があればもう少し母親となった人でも働きやすい環境になるのでは？と考えます。非常勤の期限もあるとなると尚働きにくい。なれてきたころに辞めなければならない…一体得をする人は誰なのだろう…もう少し、子どもがいる人にとっても働きやすい環境を求めます。(事務職員・30代・女性)
- ・本学の目標とする女性比率をHP上に示すべきだ。どこにも記されていない。工学系、地方などの条件を加味した目標値を示すべきで「全国平均」「全国最下位」などの言葉を慎重に用いる。(教員・40代・男性)